

徳島県で「交通安全キャンペーン」を開催

～ 徳島3大プロスポーツチームと連携して、交通安全を呼びかけました ～

一般社団法人日本損害保険協会四国支部・徳島損保会(会長:松本 哲・東京海上日動火災保険株式会社 徳島支店長)は、12月13日(金)14時から、イオンモール徳島で、徳島警察本部、徳島県損害保険代理業協会および徳島県内を代表する3つのスポーツチーム(野球:徳島インディゴソックス1名、サッカー:徳島ヴォルティス2名、バスケット:徳島ガンバローズ2名)の選手と連携した交通安全キャンペーンを行いました。3つのスポーツチームと当支部・徳島損保会が連携するのは初めての取組みとなります。

交通安全キャンペーンの開催にあたって、徳島県警察本部交通部・船本部長から挨拶がありました。次いで、船本部長から、選手に一日交通安全大使就任に係る委嘱状が手渡されました。委嘱された選手が、子どもや高齢者等の来場者に反射材付啓発チラシを手渡して、その場で反射材を靴に貼るなどして交通安全を呼びかけました。来場者の関心が高く、用意していた300枚の反射材付啓発チラシは瞬く間に無くなりました。

反射材を靴に貼り付けてもらった学生から、「反射材を靴に貼ると、夜に光って交通事故にあいにくくなるので、大切な家族の靴にも貼り付けたい」と発言がありました。

徳島県の人口10万人あたりの交通事故死者数は2023年と2024年の2年連続全国ワースト1位でした。

当支部では、引き続き、県警・行政等の関係団体と連携しつつ、交通安全の意識向上に係る取組みを推進して、1件でも多くの交通事故を減らしていくため、様々な啓発活動を実施していきます。



船本交通部長による挨拶



一日交通安全大使の委嘱の様子



スポーツ選手が靴に反射材を貼付



キャンペーンを盛り上げた選手と各チームのマスコット